

宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくります。

編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 Tel 36-0231

としあか



落語会のテープを聴く

やっつけています

身障者サービス

落語のテープを楽しんでいるのは、旭町でマッサージ業を営む藤田さんご一家です。のんき亭喜楽一門の協力で高座がテープになったのです。視力に障害のある方々は、音で読むか、点字で読むかし

か、方法がありません。読書に大きな困難を強いられています。

「だれでも、どこでも、いつでも、どんな資料でも」が、宇都宮市立図書館のモットーです。

「だれでも」には、視力障害者

の方も、寝たきり老人や重度心身障害者の方も、ろうあ者の方も当然含まれています。図書館では、障害を持ちながらもそれを克服し、読書を通して学習し、自分の世界を拓けようとする人たちに利用していただくために、ささやかな努力を続けています。

多くの本が……

一階の朗読点字室には、市販されている点字本約一、四〇〇冊、録音テープ七四〇本があり、いつでも貸出しできるようになっています。手にはいらない本は、一〇〇名を越えるボランティアのみなさんに点訳やテープ録音をおねがいし、すでに点訳本二二〇冊、朗読テープ二〇〇本ができました。

さらに利用しやすい

点訳本やテープがそろっても障害者の方が図書館に来るまでには、多くの困難があります。郵送貸出制度では、電話で申し込むことによって点字本やテープが自宅まで送り届けられます。郵送料は無料です。

必要な本を、対面朗読で読むこともできます。視力障害者の方とボランティアの方の都合を合わせ、朗読点字室で行っています。発行

されたばかりの本もすぐ読めますし、本の世界が広がり、深まることでしよう。

ボランティアのみなさんに大きな力になっていただいています。職員も、コミュニケーションを増し、読書案内や相談に応じるために、点字や手話を練習しています。

市民の協力で充実

視力障害者の方は、点字ブックによって、図書館内どこにでも行くことができます。肢体不自由の方に利用していただくために、車イス二台と身障用トイレがあります。弱視や老人の方には、大型活字本や拡大読書器があります。

市民の方から、発泡インクの印刷機や、点字印刷機を寄附していただき、将来は製版機も購入する予定です。より多くの情報をお届けできるように努めます。

読むことによって自分の世界を拓けることは、私たちすべてに与えられた特権です。みなさんのご理解により、「だれでも」利用できる図書館に、一歩近づくことができるものと思います。

今後は、寝たきり老人や重度心身障害者の方への郵送貸出等も行っていきます。

読書アンケート報告(その2)

▽ 読書の秋です。図書館では、読書週間になみ、昭和56年10月29日から11月9日に読書に関する意識調査を実施しました。△ 前回に引き続き中学生以上(回答596件)の実態を報告します。△

◇マスメディア(表1)

日常生活の中におけるマスメディアの占める位置をみると、全国(全国読書世論調査81年版)と同じく、テレビは、普及率を反映し、もはや日常化しているといえます。年代別では、高校3年・20代・30代が1時間から2時間と少なく、60代には5時間以上見ている人が多くみられました。

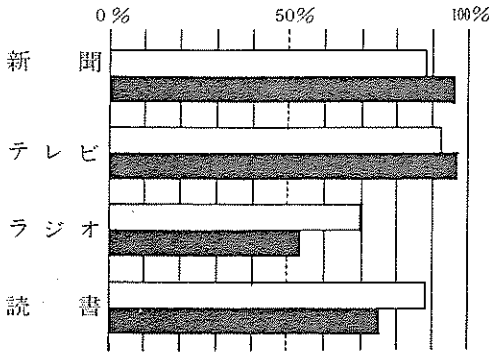


表1 □ 当館 ■ 全国

あなたは読書家ですか?

平均は月に2~3冊

表2

	図書館(S56)	全国(S55)
1	窓ぎわのトットちゃん 黒柳 徹子	点と線 松本 清張
2	ボッコちゃん 星 新一	宮本武蔵 吉川 英治
3	嵐が丘 E・ブロンテ	青春の門 五木 寛之
4	野菊の墓 伊藤佐千夫	竜馬がいく 司馬遼太郎
5	赤毛のアン モンゴメリー	こころ 夏目 漱石
6	宇宙の戦士 R.A.ハインライン	氷 壁 井上 靖
7	こころ 夏目 漱石	孤高の人 新田 次郎
8	風立ちぬ 堀 辰雄	さ ぶ 山本周五郎
9	怪人二十面相 江戸川乱歩	人間の証明 森村 誠一
10	三銃士 デュマ	沈黙 遠藤 周作

読書率は、来館者を調査しているため、全国よりかなり高くなっています。年代別で、50代・60代の100%の人が読書をするに答えています。読書時間は、1時間以上2時間未満がもっとも多く、全国平均の45分を上まわっていました。

◇好きな著書 著者ベスト10(表2) 当館調査では、中学生の意見がかなりはいっています。その中で「窓ぎわのトットちゃん」は、「最近読んだ本」と「よいと思った本」の調査でも1位でした。夏目漱石などの古典名作も健在です。

◇子どもとマンガ 賛成派85.5% 子どもにマンガを自由に読ませる53.3%、ほどほどに読ませる32%、なるべく読ませないようにする反対派は5.7%でした。マンガを子どもに読ませない時代から、大人たちみずから読む時代となったためでしょう。

◇一カ月にどれくらい読むのか? 書籍においては、79%の人が少なくとも一カ月に一冊は読み、比率としては月に2~3冊読むが圧倒的です。しかし、年代別40代・

今年もアンケートを実施します。御協力をおねがいいたします。

利用上の注意

○秋もふかまり、読書にかつこの季節となりました。図書館では読書意欲をいざなう講演会など、いろいろな催し物を予定しています。今後の広報紙等に注意しててください。

○図書館内では、大声で雑談したり走ったりして、他人の迷惑になることは絶対におやめください。退館していただくこともあります。

○図書館内のはすべて公共物です。故意にこわしたり、汚したりしないようにしましょう。

下野新聞・栃木新聞のマイクロフィルムが、創刊号から昭和56年12月まで揃いました。その他、新たに

絵入り自由新聞(明治15年9月~明治22年12月)17巻、萬朝報新聞(明治25年11月~明治41年12月)50巻も購入しました。

フィルムはコピーできます。1枚30円です。



ゲーテ没後150年記念 講演・映画・展示

一八三二年三月二十二日、「もつと光を」ということばを残して、一つの偉大な魂がこの世を去った。ゲーテである。



ゲーテのロマン

ゲーテ

ドイツの世界的詩人・小説家・劇作家。シラーとともに、「ドイツ古典主義文学を樹立。八十三年の生涯に、多くの名作を残し、ダンテ・シェークスピアとともに、世界三大文豪のひとり」と称される。

今年は、ゲーテ没後一五〇年にあたります。これを記念して図書館では、ドイツ文学者の高橋健二氏を招いて、講演会を行い、あわせてドイツ映画の上映・ゲーテに関する資料の展示をします。

講演会・映画会
図書館3階集会室・入場無料
10月2日(土) 2時から
映画「燃えつきた夢」 「67番地の子どもたち」
10月3日(日) 1時30分から
講演「ゲーテと女性」
映画「燃えつきた夢」 「67番地の子どもたち」
講演会は、申し込みが必要です。



講師
高橋健二氏

明治三十五年東京生まれ。東京大学独文科卒。中央大学名誉教授。日本芸術院会員、日本ペンクラブ会長。

著書に「ヘッセ研究」「グリム兄弟」「若いゲーテ評伝」「ゲーテをめぐる女性たち」など。訳書に個人全訳の「ヘッセ全集」「ゲーテ作品集」「グリム童話集」などがある。

視障協からお願い

宇都宮市視力障害者福祉協会会長 藤田 高穂



立派な図書館をつくっていただき感謝しております。

会員一同、できるだけ利用して行こうと話合っているところです。できればもっと、交通の便が良ければと思います。今後の検討を期待するところです。

さて、会員と話し合ひまして、いろいろ要望がありました。リクエストしましたら、出来るだけ早く、録音や点訳して貸出して下さい。また一本のテープは終わるまで一人のボランティアの方が吹

図書館に思う

西原地区自治会連合会長 鱒淵 圭一
民生児童委員

過日、図書館で落語会があると



きこんで下さった方が聴きやすいようです。アマチュアの落語テープは、会員みなが楽しみにしています。これからも頑張つて下さい。雑誌や新聞の連載小説もテープにしていたら、と思います。

し、盲人に貸出するための作業であることを館員から聞くに及んで、頭の下がる思いがした。憲法に保障された国民の権利の一つに、「文化的生活を営む権利」があるが、あらゆる人に文化的恩恵に浴させる図書館の果たす役割は極めて大きいものと、今さらながら痛感した。書籍氾濫の現世にこそ、正しく立派な図書を選定して市民に提供することも図書館の役割りの一つであり、市民の為開かれた図書館へ



あらゆる人に文化的恩恵に浴させる図書館の果たす役割は極めて大きいものと、今さらながら痛感した。書籍氾濫の現世にこそ、正しく立派な図書を選定して市民に提供することも図書館の役割りの一つであり、市民の為開かれた図書館へ

目録

問 なぜ地図はコピーや貸出しができないのですか。

答 著作権法により図書館は著作物の一部コピーは許されていますが、地図はどの部分も一部分とはいえないので、コピーできません。また地図は参考資料なので貸出しません。ご了承ください。

10月のおはなし会

毎週3回、次のとおりボランティアによるお話し会をしています。

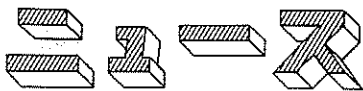
- ・火曜日(3時30分から)
- ・木曜日(3時30分から)
- ・土曜日(2時30分から)

場所は児童図書室お話しコーナーです。なにをするかは、お話しコーナーの入口に書いてあります。

映画会

「67番地の子供たち」解説

一九三三年、失業者がまちにあふれるなかでも、ここ67番地の子供たちは底ぬけに明るく、たくましく生きています。



「燃えつきた夢」解説

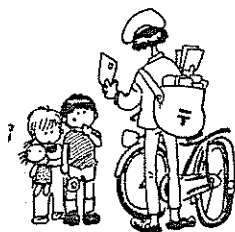
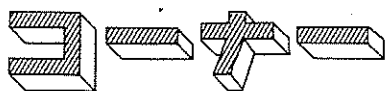
小さな田舎町に住むと、大都会の生活を夢みる。そして、夢が実現すると幻滅を味わう、という共生感覚を失なった孤独な現代人

の姿を端的にえがいたもの。

寄贈

八月から九月までに次の方に寄贈していただきました。ありがとうございます。

敬称略。野沢広・台美恵子・藤倉礼子・池野重典・時田俊江・鹿妻民子・その他、多数。



アサヒグラフをお持ちの方へ

当館では、みなさまから寄贈いただいた雑誌「アサヒグラフ」を創刊号より合本していますが、途中欠号のため、せつかくの資料が不完全となっています。お持ちの方は、ぜひ、ご寄贈ください。

欠号年

大正十二年～十五年
昭和二年～四年
昭和七年～十三年
昭和十六年～五十六年三月

貸出状況

	57年 8 月	累計 (4月～8月)
登録者数	2,529 人	47,571 人
貸出人数		
館内	22,497	88,419
視聴覚	1,752	7,602
館外	2,915	14,368
計	27,164	110,389
貸出冊数		
館内	62,447 冊	256,042 冊
視聴覚	2,971	12,886
館外	13,468	69,071
計	78,886	337,999

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時
ただし、児童図書室は午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日
国民の祝日
図書整理日(毎月初日または翌日)

○貸出は

一人5冊(レコード・テープを含む)・2週間以内
○団体で研究・調査あるいは講習会等に使用できる部屋があります。予約制になっていますので3階事務室に申し出てください。印鑑が必要です。

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	①	②	③	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
21	⑳	㉑	24	25	26	27
28	㉒	30				

10月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	④	5	6	7	8	9
⑩	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	21	22	23
24	㉑	26	27	28	29	30

ボランティア制作

あたらしい本

テープ図書 △運命は扉をたたく(保田) △いのち生まれる時(湯本) △前畑ガンバレ(横山) △暖簾(吉野) △ももの木アパート青い風(佐藤) △大浪花諸人往來(船越) △新動物誌(中神) △一つの季節(木村) △いく

さ世を生きて/歓喜の市・下/雨月/今も時だ(藤田) △ラインの古城/誰のために愛するか/つかの間の二十歳(四十物)

点字図書 △ぼくは王様/峠を越えて(四十物) △おぼけのどろんどろんとびかおぼけ(石島) △おこじよの住む谷/エルマーのぼうけん(岩淵) △おぼあちゃん(落語屋さん) △じろはったん/おじいちゃん冬へ旅立つとき(岡田) △さと子の子日記(梶原) △猫は生きている(小林) △足ながおじさん/君はダックス先生がきらいか(斎藤) △おぼあちゃんの犬ジョータン(篠原) △京のほたる火(関) △ばけるばけない(藤野) △マてつ祭り(前田) △先生たいへん事件です(増淵) △家出・12歳の夏(増山) △わんぱくタイクの大荒れ3学期(水内) △わんぱくりトルノーズ(吉野)